

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2019年11月14日

【四半期会計期間】 第2期第2四半期(自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)

【会社名】 株式会社サン・ライフホールディング

【英訳名】 SUN LIFE HOLDING CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 比企 武

【本店の所在の場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 佐野 秀一

【最寄りの連絡場所】 神奈川県平塚市馬入本町13番11号

【電話番号】 0463(22)1233(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役経営企画部長 佐野 秀一

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第2期 第2四半期 連結累計期間	第1期
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2018年4月1日 至 2019年3月31日
売上高	(千円)	5,734,814	12,470,205
経常利益	(千円)	325,226	1,069,397
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	159,591	537,050
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	164,418	520,205
純資産額	(千円)	6,668,295	6,627,056
総資産額	(千円)	37,348,666	37,464,455
1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	24.61	82.83
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)		
自己資本比率	(%)	17.9	17.7
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	399,191	1,164,712
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	553,939	1,215,713
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	123,752	213,115
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	11,635,423	11,914,730

回次		第2期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 2019年7月1日 至 2019年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	23.27

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。
4. 当社は、2018年10月1日設立のため、前第2四半期連結累計期間に係る記載はしていません。
5. 第1期の連結財務諸表は、単独株式移転により完全子会社となった株式会社サン・ライフの連結財務諸表を引継いで作成しております。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。

また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

### 2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

また、当社は、2018年10月1日に単独株式移転により株式会社サン・ライフの完全親会社として設立されましたが、連結の範囲に実質的な変更はないため、前年同四半期と比較を行っている項目につきましては、株式会社サン・ライフの2019年3月期第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年9月30日）と比較しております。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続く一方、米中貿易摩擦等の影響などもあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、経済産業省「特定サービス産業動態調査」（サンプル調査、速報）によりますと、2019年4～9月の結婚式場業の取扱件数は前年同期比0.1%減の37,407件、売上高は前年同期比0.4%増の106,569百万円となっております。一方、葬儀業の同期間の取扱件数は前年同期比2.7%増の209,315件、売上高は前年同期比1.0%増の285,714百万円となっております。

このような状況下におきまして、当社グループの売上高は前年同四半期比1.7%減の5,734百万円、営業利益は、前年同四半期比9.1%減の274百万円、経常利益は前年同四半期比8.9%減の325百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に組織再編によりスケジューリングが可能となった将来減算一時差異に係る繰延税金資産を計上した影響で、当第2四半期連結累計期間の法人税等合計が前年同四半期で増加したことにより、前年同四半期比61.5%減の159百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ホテル事業（ホテル・ブライダル事業）

ホテル事業は、地域企業への渉外活動を強化した結果、ご宴会、ご宿泊の売上高は増加しました。一方で、多様なご婚礼ニーズに応えるため、SNS・WEB広告を推進してまいりましたが、期中の効果は当初予定を下回り、ご婚礼施行組数、及びご婚礼売上高は減少したため、売上高は前年同四半期比16.5%減の810百万円、営業損失は156百万円（前年同四半期は123百万円の営業損失）となりました。

#### 式典事業（葬祭・法要事業）

式典事業は、生前相談会、施設見学会・フェスタ開催等、お客様とのコミュニケーションを深める活動を推進してまいりました。ご葬儀1件あたりの売上高はご葬儀の小規模化の影響により減少したものの、2019年4月には家族葬対応施設「サン・ライフファミリーホール橋本」（神奈川県相模原市緑区）、2019年6月には小規模葬対応施設「セレイエ厚木」（神奈川県厚木市）を開設しました。また、前期開設斎場の順調な稼働もありご葬儀件数は増加し、売上高は前年同四半期比1.8%増の4,117百万円となり、営業利益は前年同四半期比5.2%増の898百万円となりました。

#### 介護事業（介護事業・有料老人ホーム事業）

介護事業では、介護サービスご利用者の増加とサービス向上に努めてまいりましたが、訪問介護事業所の閉鎖もあり、売上高は前年同四半期比1.8%減の660百万円となりました。また、営業費用においては前期の事業譲受等の支払手数料が無くなったため、営業利益は前年同四半期比45.0%増の30百万円となりました。

#### その他事業（少額短期保険他）

その他の事業は、少額短期保険収入の増加等もあり、売上高は前年同四半期比2.6%増の146百万円となりましたが、保険料の支払により営業費用が増加した結果、営業利益は前年同四半期比27.7%減の30百万円となりました。

財政状態に関する状況については、次のとおりであります。

#### 資産

資産合計は37,348百万円（前連結会計年度末比0.3%減）となりました。

流動資産は12,838百万円（前連結会計年度末比3.0%減）となりました。これは、現金及び預金の減少等が主たる要因であります。

固定資産は24,510百万円（前連結会計年度末比1.2%増）となりました。これは、敷金及び保証金の増加等による投資その他の資産の増加等が主たる要因であります。

#### 負債

負債合計は30,680百万円（前連結会計年度末比0.5%減）となりました。

流動負債は1,853百万円（前連結会計年度末比7.4%減）となりました。これは、買掛金の減少等が主たる要因であります。

固定負債は28,826百万円（前連結会計年度末比0.0%減）となりました。

#### 純資産

純資産合計は6,668百万円（前連結会計年度末比0.6%増）となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益159百万円の計上と配当金の支払123百万円により、利益剰余金が36百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が4百万円増加したことによるものです。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ279百万円減少し11,635百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は399百万円となりました。増加要因として税金等調整前四半期純利益309百万円、減価償却費285百万円があった一方、減少要因として法人税等の支払額158百万円があったことが主たる要因であります。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果支出した資金は553百万円となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出442百万円があったことが主たる要因であります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果支出した資金は123百万円となりました。これは配当金の支払額122百万円あったことが主たる要因であります。

### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの事実上及び財政上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

## 3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	27,280,000
計	27,280,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (2019年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (2019年11月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	6,820,000	6,820,000	東京証券取引所 J A S D A Q (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	6,820,000	6,820,000		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2019年9月30日		6,820,000		100,000		

## (5) 【大株主の状況】

2019年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社サカエヤ	神奈川県平塚市明石町25番1号	2,455	37.87
竹内 伸枝	神奈川県平塚市	420	6.48
株式会社ニチリョク	東京都杉並区上井草1丁目33-5	360	5.55
学校法人鶴嶺学園	神奈川県平塚市宮松町15-16	210	3.24
竹内 恵司	神奈川県平塚市	203	3.14
龍巖股份有限公司 (常任代理人 大和証券株式会 社)	台北市松山區敦化路150號7 <sup>6</sup> / <sub>5</sub> <sup>F</sup> (東京都千代田区丸の内1丁目9番1号)	160	2.47
平塚信用金庫	神奈川県平塚市紅谷町11-19	150	2.31
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1丁目2-1	100	1.54
サン・ライフ従業員持株会	神奈川県平塚市馬入本町13番11号	96	1.48
日本生命保険相互会社	東京都千代田区丸の内1丁目6-6 日本生命証券管理部内	80	1.23
計		4,235	65.33

(注) 上記のほか、当社所有の自己株式が336千株(4.94%)あります。

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2019年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 336,800		
完全議決権株式(その他)	普通株式 6,482,300	64,823	
単元未満株式	普通株式 900		
発行済株式総数	6,820,000		
総株主の議決権		64,823	

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が800株(議決権8個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が44株含まれております。

## 【自己株式等】

2019年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サン・ライフ ホールディング	神奈川県平塚市馬入本町13 番11号	336,800		336,800	4.94
計		336,800		336,800	4.94

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

当社は、2018年10月1日設立のため、前年同四半期との対比は行っておりません。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2019年7月1日から2019年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。



## 1 【四半期連結財務諸表】

## (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,688,082	11,404,337
売掛金	484,233	478,356
有価証券	210	206
商品	43,833	38,586
原材料及び貯蔵品	66,288	60,065
預け金	536,975	541,419
その他	420,648	317,332
貸倒引当金	1,928	2,069
流動資産合計	13,238,343	12,838,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,894,781	7,081,507
土地	7,852,185	8,070,237
その他(純額)	823,044	511,001
有形固定資産合計	15,570,011	15,662,746
無形固定資産		
のれん	326,681	308,394
その他	377,970	437,273
無形固定資産合計	704,652	745,667
投資その他の資産		
投資有価証券	2,705,456	2,712,771
供託金	1,098,965	1,104,965
その他	4,177,268	4,314,271
貸倒引当金	30,241	29,990
投資その他の資産合計	7,951,447	8,102,017
固定資産合計	24,226,111	24,510,431
資産合計	37,464,455	37,348,666
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	636,735	497,501
未払金	359,622	339,829
未払法人税等	136,280	199,098
引当金	138,130	166,770
その他	732,150	650,517
流動負債合計	2,002,918	1,853,717
固定負債		
前払式特定取引前受金	26,871,067	26,894,043
引当金	57,747	56,784
退職給付に係る負債	100,384	107,236
その他	1,805,279	1,768,589
固定負債合計	28,834,479	28,826,653
負債合計	30,837,398	30,680,371

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	6,038,876	6,075,288
自己株式	341,896	341,896
株主資本合計	6,558,895	6,595,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,994	71,805
その他の包括利益累計額合計	66,994	71,805
非支配株主持分	1,167	1,183
純資産合計	6,627,056	6,668,295
負債純資産合計	37,464,455	37,348,666

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	5,734,814
売上原価	4,465,485
売上総利益	1,269,328
販売費及び一般管理費	1 994,372
営業利益	274,956
営業外収益	
受取利息	6,539
受取配当金	9,830
前受金月掛中断収入	13,281
不動産賃貸収入	12,258
その他	31,664
営業外収益合計	73,573
営業外費用	
不動産賃貸費用	4,715
前受金復活損失引当金繰入額	17,769
その他	818
営業外費用合計	23,303
経常利益	325,226
特別利益	
受取保険金	17,328
特別利益合計	17,328
特別損失	
固定資産除売却損	32,814
特別損失合計	32,814
税金等調整前四半期純利益	309,740
法人税、住民税及び事業税	211,939
法人税等調整額	61,806
法人税等合計	150,133
四半期純利益	159,607
非支配株主に帰属する四半期純利益	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	159,591

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日  
至 2019年9月30日)

四半期純利益	159,607
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	4,810
その他の包括利益合計	4,810
四半期包括利益	164,418
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	164,402
非支配株主に係る四半期包括利益	15

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
 (自 2019年4月1日  
 至 2019年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	309,740
減価償却費	285,438
のれん償却額	18,287
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	6,851
貸倒引当金の増減額(は減少)	110
賞与引当金の増減額(は減少)	28,640
前受金復活損失引当金の増減額(は減少)	963
受取利息及び受取配当金	16,369
受取保険金	17,328
固定資産除売却損益(は益)	32,814
売上債権の増減額(は増加)	5,876
たな卸資産の増減額(は増加)	11,470
仕入債務の増減額(は減少)	139,233
未払金の増減額(は減少)	53,959
前払式特定取引前受金の増減額(は減少)	22,975
その他の流動資産の増減額(は増加)	44,577
その他の流動負債の増減額(は減少)	73,480
その他	10,618
小計	365,451
利息及び配当金の受取額	12,341
保険金の受取額	17,328
法人税等の支払額	158,604
法人税等の還付額	162,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	399,191
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形及び無形固定資産の取得による支出	442,202
供託金の預入による支出	6,000
貸付けによる支出	24,150
貸付金の回収による収入	1,641
その他	83,227
投資活動によるキャッシュ・フロー	553,939

(単位：千円)

当第2四半期連結累計期間  
(自 2019年4月1日  
至 2019年9月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	122,572
その他	1,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	123,752
現金及び現金同等物に係る換算差額	806
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	279,307
現金及び現金同等物の期首残高	11,914,730
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 11,635,423

## 【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
役員報酬	71,182千円
給与手当	368,900千円
賞与引当金繰入額	55,800千円
退職給付費用	20,127千円
福利厚生費	69,139千円
広告宣伝費	52,511千円
支払手数料	84,780千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	
現金及び預金勘定	11,404,337千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	310,540千円
有価証券のうちMMF等	206千円
その他流動資産(預け金)	541,419千円
現金及び現金同等物	11,635,423千円

(株主資本等関係)

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	123,179	19	2019年3月31日	2019年6月25日

(注) 1株当たり配当額には持株会社設立記念配当金3円が含まれております。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年11月8日 取締役会	普通株式	103,730	16	2019年9月30日	2019年11月29日	利益剰余金

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	810,439	4,117,563	660,279	5,588,281	146,532	5,734,814		5,734,814
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	120,358	51	360	120,769	2,085	122,855	122,855	
計	930,797	4,117,614	660,639	5,709,051	148,617	5,857,669	122,855	5,734,814
セグメント利益又は 損失( )	156,638	898,584	30,945	772,891	30,290	803,182	528,225	274,956

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業他が含まれております。

2 セグメント利益の調整額 528,225千円には、セグメント間取引消去26,055千円、各報告セグメントに配分していない全社費用 554,281千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

項目	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	24円61銭
(算定上の基礎)	
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	159,591
普通株主に帰属しない金額(千円)	
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益 金額(千円)	159,591
普通株式の期中平均株式数(株)	6,483,156

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

第2期(2019年4月1日から2020年3月31日まで)中間配当について、2019年11月8日開催の取締役会において、2019年9月30日現在の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり中間配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	103,730千円
1株当たりの金額	16円00銭
支払請求権の効力発生日及び支払開始日	2019年11月29日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年11月14日

株式会社サン・ライフホールディング  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 齋藤 慶典 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 平井 清 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サン・ライフホールディングの2019年4月1日から2020年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2019年7月1日から2019年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サン・ライフホールディング及び連結子会社の2019年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。